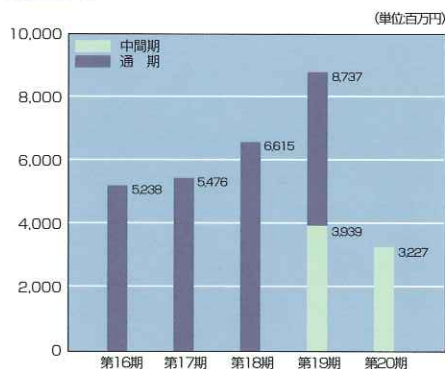


# 第20期 中間事業報告書

平成13年6月1日から平成13年11月30日まで

# 財務ハイライト

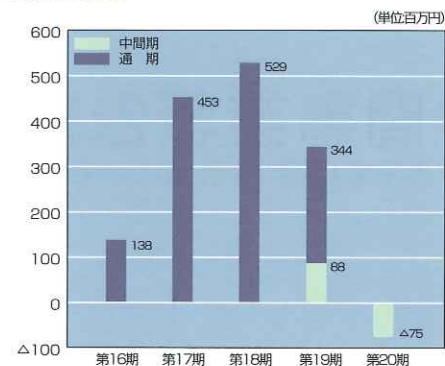
## 売上高



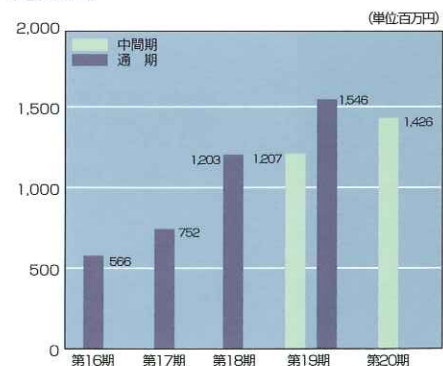
## 総資産



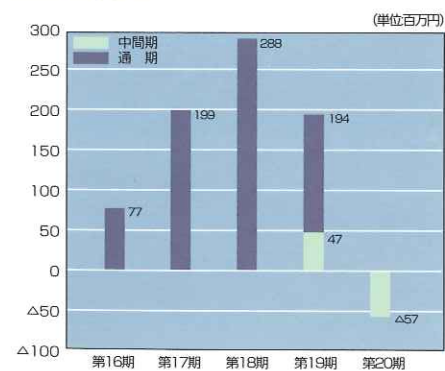
## 経常利益



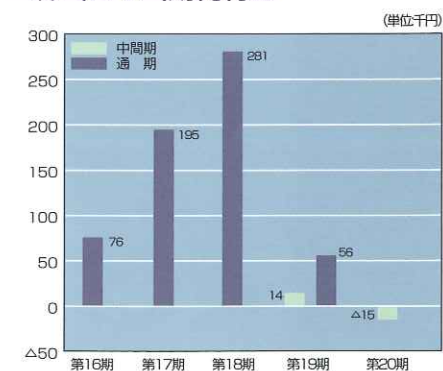
## 純資産



## 当期純利益



## 一株当たり当期純利益



### ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。当社に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社の第20期の中間報告をさせていただくにあたり、ご挨拶申し上げます。周知のように、不良債権処理が最終局面を迎えようとしており、当社を取り巻く業界においても市場原理による優勝劣敗が明らかになりつつあります。消費社会が一企業の存続の正否を明確にかつ速やかに判定する時代になったと感じております。当社におきまして、たとえ半期であれ損失になりましたことを一時的現象と捉えず、経済環境にその原因を求めるのではなく、当社の存在意義や消費者から見た当社の商品サービスが果たして本当の価値（value）を有しているのか、自らに問うことが必要であると深く反省しております。

減益になった主な原因は、デフレ（特に地価）の底打ちの見極めをするために、事業スピードを落としたこと、コストダウン対応が遅れたことにあったと判断しています。

当社の分譲事業の販売状況につきまして、名古屋地区では、昨年9月のアメリカ合衆国同時多発テロ以降、一時、需要が落ち込みましたが、昨年末より回復してきており、ほぼ予定の売上と受注ができると予測しております。

中京地区においては、特に優勝劣敗が明確になり、当社が狙ってきた独自の市場、そして優位なポジションを確保できるチャンスが巡ってきたと感じております。東京の事業につきましては、まだ判断する段階ではありませんが、軌道に乗せるにはもう少し時間が必要だと考えております。当社が首都圏で行う事業の価値を何処に置くかを明解にするつもりです。

今後の行動指針といたしまして、過去の延長としてではなく、今のマーケットに忠実に、そして、勇猛果敢に挑戦していく所存であります。

トータルな住宅ビジネスとして、新しい部材や住宅機器の開発も自社において進行中ですので、感覚やデザインのみではなく、ハードな製品としても差別化戦略を強力に推し進め、その価値を消費社会に問いたいと願っています。市場は正直です。新しい価値を生み出せば必ず反応すると信じ、社員共々努力精進してまいりますので、引き続き変わらぬご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



平成14年2月  
代表取締役 前田 和彦

## 部門のご紹介

### 基本戦略

#### ブランド戦略

「都会・大人・知性」の3つのコンセプトキーワードを基に、「住まいのデザイナーズブランド」の確立を目指します。

#### 商品戦略

「質の量産」をテーマに工業化・効率化の手法を取り入れつつ、オリジナリティーやモノづくりへのこだわりを追求します。

#### 販売戦略

商品自体の魅力が営業ツールとなる、サイレントセールスが基本方針。販売活動にかかるコストは最小限にし、モノづくりに重点配分しています。

### 分譲住宅

あくまでも自分らしさ、我が家らしさにこだわる方を選んでいただきたい、感性を大事にした戸建分譲住宅を提案しています。当社の戸建分譲住宅は、「土地」+「住宅」という発想ではありません。環境に配慮し、完成度の高いプロのしつらえを施した「都市の住空間」を提供しています。それぞれが「ひとつの作品」。いわば、ウッドフレンズ流プレタポルテです。



滝ノ水の家Ⅱ期 (名古屋市緑区)



川崎の家 (名古屋市千種区)



滝ノ水中央公園の家 (名古屋市緑区)



滝ノ水の家Ⅱ期 (名古屋市緑区)



文教台の家 (名古屋市名東区)

## 注文住宅

ケースバイケースのニーズに建築デザイナーの想いを重ね、「真の注文住宅」とは何かの問いに明確にお答えを提案していきます。美しく心地よく、そこに住まう人のアイデンティティをカタチにした住まい。経験豊かなスタッフがお客様の希望を形にしていきます。注文住宅はウッドフレンズ流オートクチュールであり、感覚の上での試みの場です。ウッドフレンズのフラッグシップともいべき事業です。



ワンダーシティモデルハウス「素空間の家」(名古屋市西区)  
平成13年10月、名古屋市西区ワンダーシティH.D.P内に新モデルハウス「素空間の家」を出展いたしました。濃尾平野の長屋門をイメージし、おらかな空間を再現したシンプルなディテールと飾り気のない住空間を追求しています。

## インテリア

住まいを求める理由の一つに、豊かな人生、家族生活の実現があります。家という住空間を快適なものに。ナチュラルで、シンプルで、それでいてモダンな住空間をウッドフレンズテイストでご提供していきたいと考えています。そんな方向性のもと生まれた、ライフスタイルショップ「ノードウッド」では、より豊かに暮らしを彩る商品をご用意いたしております。



M邸 (名古屋市瑞穂区)



八事モデルハウス「クレモーナ」(名古屋市昭和区)



白鳥モデルハウス「アルペロ」(名古屋市熱田区)



「ノードウッド」(名古屋市東区)  
平成13年11月よりオリジナル家具の販売を開始いたしました。(写真はダイニングテーブル)

### 上半期の概況

上半期における日本経済は、ITバブルの崩壊とともに世界同時不況の様相を呈し、平成13年9月のアメリカ合衆国同時多発テロの勃発がさらなる追い討ちをかけ、日本国内では狂牛病の発生や株価の低迷、さらに完全失業率が5.0%を超えるという雇用情勢の厳しさなどによる先行き不透明感が深まりました。

そのような厳しい経済環境の中で、住宅業界におきましては、住宅取得優遇税制の有利さが薄れ、マンションを中心とした活況は減速し、特に戸建住宅に対する環境は非常に厳しい状況でありました。

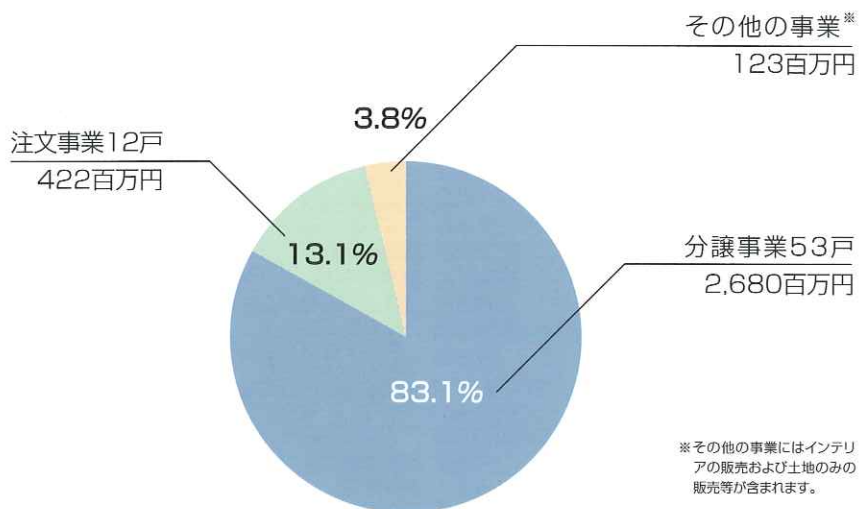
このような状況下、当グループは、平成13年7月、愛知県知立市に分譲事業の拠点として三河営業所を設立し、知立市・刈谷市・豊田市等を中心とした西三河地域での事業を開始いたしました。さらに、首都圏での分譲事業および連結子会社株式会社ミルクリーク東海の輸入住宅「ミルクリーク」の販売もそれぞれ2年目を迎えました。

さらに、平成13年10月には当社3棟目のモデルハウス「素空間の家」を名古屋市西区の総合住宅展示場ワンダーシティH.D.P内にオープンし、注文事業の営業拠点としております。

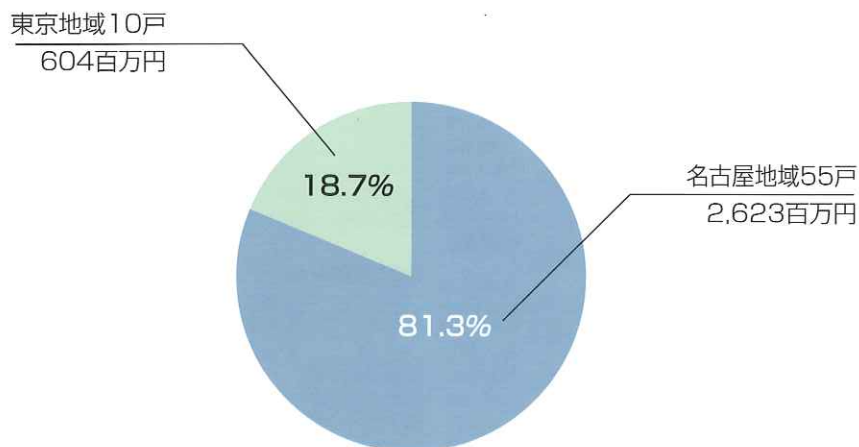
その結果、売上高は3,227,551千円（対前年同期比18.1%減）、営業損失19,754千円、経常損失75,564千円、中間純損失57,851千円となりました。

# 部門別・地域別営業の概況

## 部門別



## 地域別



# 中間連結財務諸表

## 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	前中間連結会計期間末	当中間連結会計期間末	前連結会計年度
	(平成12年11月30日現在)	(平成13年11月30日現在)	要約連結貸借対照表 (平成12年11月31日現在)
	金額	金額	金額
<b>資産の部</b>			
<b>流動資産</b>			
現金及び預金	1,104,970	931,028	1,638,197
就工庫入金及び残高	35,750	51,013	13,656
たな卸資産	3,866,772	6,127,468	3,401,942
その他	123,594	164,228	149,677
<b>流動資産合計</b>	<b>5,131,088</b>	<b>7,273,737</b>	<b>5,203,473</b>
<b>固定資産</b>			
有形固定資産	251,729	294,419	239,671
無形固定資産	5,521	4,570	4,456
投資その他の資産	161,386	162,324	139,224
<b>固定資産合計</b>	<b>418,637</b>	<b>461,314</b>	<b>383,353</b>
<b>資産合計</b>	<b>5,549,726</b>	<b>7,735,051</b>	<b>5,586,827</b>
<b>負債の部</b>			
<b>流動負債</b>			
工事未払金及び買掛金	546,692	587,483	737,596
短期借入金	3,205,000	5,288,600	2,809,700
1年内返済長期借入金	21,638	21,679	21,658
未払法人税等	30,012	580	112,796
未成工事受入金	296,128	230,359	118,312
完成工事補償引当金	17,900	10,260	22,321
その他	149,117	129,662	161,860
<b>流動負債合計</b>	<b>4,266,489</b>	<b>6,268,624</b>	<b>3,984,246</b>
<b>固定負債</b>			
長期借入金	76,223	54,544	65,388
その他	16,427	60,847	41,685
<b>固定負債合計</b>	<b>92,651</b>	<b>115,391</b>	<b>107,074</b>
<b>負債合計</b>	<b>4,359,141</b>	<b>6,384,015</b>	<b>4,091,320</b>
<b>資本の部</b>			
資本金	191,150	279,125	279,125
資本準備金	162,890	269,495	269,495
連結剰余金	839,507	805,198	952,144
その他有価証券評価差額金 △	2,962	△ 2,782	△ 5,257
<b>資本合計</b>	<b>1,190,585</b>	<b>1,351,036</b>	<b>1,495,506</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>5,549,726</b>	<b>7,735,051</b>	<b>5,586,827</b>

## 中間連結剰余金計算書

(単位：千円)

科目	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	前連結会計年度
	(平成12年11月30日)	(平成13年11月30日)	(平成12年11月31日)
	金額	金額	金額
連結剰余金期首残高	849,230	952,144	849,230
連結剰余金減少高	40,698	64,500	40,698
配当金	30,698	55,500	30,698
役員賞与	10,000	9,000	10,000
<b>中間(当期)純利益又は純損失(△)</b>	<b>30,975</b>	<b>△ 82,445</b>	<b>143,611</b>
連結剰余金中間期末(期末)残高	839,507	805,198	952,144

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

科目	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	前連結会計年度
	(平成12年11月30日)	(平成13年11月30日)	(平成12年11月31日)
	金額	金額	金額
<b>売上高</b>	<b>3,939,130</b>	<b>3,296,897</b>	<b>8,825,678</b>
<b>売上原価</b>	<b>3,462,100</b>	<b>2,902,091</b>	<b>7,624,192</b>
<b>売上総利益</b>	<b>477,030</b>	<b>394,805</b>	<b>1,201,486</b>
販売費及び一般管理費	377,946	437,887	815,680
給料手当	65,890	80,648	205,058
販売手数料	45,584	29,103	71,525
広告宣伝費	66,512	92,091	143,918
完成工事総額引当金繰入	8,895	10,200	22,321
その他	191,063	225,843	372,856
<b>営業利益又は営業損失(△)</b>	<b>99,083</b>	<b>△ 43,082</b>	<b>385,806</b>
<b>営業外収益</b>	<b>4,688</b>	<b>3,570</b>	<b>8,905</b>
受取利息	923	554	1,809
受取配当金	172	22	345
受取手数料	2,339	2,872	5,154
その他の営業外収益	1,252	120	1,597
<b>営業外費用</b>	<b>43,829</b>	<b>60,555</b>	<b>100,816</b>
支払利息	36,650	52,630	77,603
その他の営業外費用	7,178	7,924	23,213
<b>経常利益又は経常損失(△)</b>	<b>59,942</b>	<b>△ 100,067</b>	<b>293,895</b>
<b>特別利益</b>	<b>493</b>	<b>—</b>	<b>493</b>
保険金受取差益	303	—	303
貸倒引当金戻入額	190	—	190
<b>特別損失</b>	<b>—</b>	<b>19,526</b>	<b>—</b>
固定資産除却損	—	280	—
投資有価証券評価損	—	19,246	—
<b>税金等調整前中間(当期)純利益又は純損失(△)</b>	<b>60,435</b>	<b>△ 119,594</b>	<b>294,388</b>
法人税、住民税及び事業税	30,124	581	142,958
法人税等調整額 △	663	△ 37,729	7,818
<b>中間(当期)純利益又は純損失(△)</b>	<b>30,975</b>	<b>△ 82,445</b>	<b>143,611</b>

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	前連結会計年度
	(平成12年11月30日)	(平成13年11月30日)	(平成12年11月31日)
	金額	金額	金額
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>5,384</b>	<b>△ 3,012,536</b>	<b>767,587</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー △	52,093	△ 101,916	△ 61,400
財務活動によるキャッシュ・フロー △	86,385	2,412,983	△ 307,553
現金及び現金同等物に係る増減額	—	—	—
現金及び現金同等物の増減額 △	133,093	△ 701,469	398,633
現金及び現金同等物の期首残高	1,231,313	1,629,947	1,231,313
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	1,098,220	928,478	1,629,947



# 個別中間財務諸表

## 個別中間貸借対照表

(単位：千円)

科目	前中間会計期間末 (平成12年11月30日現在)	当中間会計期間末 (平成13年11月30日現在)	前事業年度 要約貸借対照表 (平成13年5月31日現在)
	金額	金額	金額
<b>資産の部</b>			
<b>流動資産</b>			
現金及び預金	1,089,221	916,037	1,587,111
完成工事未収入金	30,462	48,859	11,785
売掛金	1,161	1,794	1,870
たな卸資産	3,866,845	6,050,524	3,391,697
その他	122,084	245,188	159,967
<b>流動資産合計</b>	<b>5,109,775</b>	<b>7,262,405</b>	<b>5,152,432</b>
<b>固定資産</b>			
有形固定資産	248,023	290,948	236,142
無形固定資産	5,449	4,498	4,384
投資その他の資産	178,762	205,926	187,976
<b>固定資産合計</b>	<b>432,235</b>	<b>501,373</b>	<b>428,503</b>
<b>資産合計</b>	<b>5,542,010</b>	<b>7,763,778</b>	<b>5,580,935</b>
<b>負債の部</b>			
<b>流動負債</b>			
工事未払金	529,154	566,134	696,116
買掛金	6,699	10,925	5,258
短期借入金	3,205,000	5,288,600	2,806,700
1年内返済長期借入金	21,638	21,679	21,658
未払法人税等	29,937	490	112,631
未成工事受入金	291,857	211,097	109,712
完成工事補償引当金	17,900	10,200	22,200
その他	139,963	114,539	153,933
<b>流動負債合計</b>	<b>4,242,150</b>	<b>6,223,666</b>	<b>3,928,212</b>
<b>固定負債</b>			
長期借入金	76,223	54,544	65,388
その他	16,427	59,412	41,302
<b>固定負債合計</b>	<b>92,651</b>	<b>113,956</b>	<b>106,691</b>
<b>負債合計</b>	<b>4,334,801</b>	<b>6,337,622</b>	<b>4,034,903</b>
<b>資本の部</b>			
資本金	191,150	279,125	279,125
資本準備金	162,890	269,495	269,495
利益準備金	47,787	69,781	47,787
その他の剰余金			
任意積立金	660,000	770,000	660,000
中間(当期)未処分利益	148,343	40,536	294,882
<b>その他の剰余金合計</b>	<b>808,343</b>	<b>810,536</b>	<b>954,882</b>
その他有価証券評価差額金	△ 2,962	△ 2,782	△ 5,257
<b>資本合計</b>	<b>1,207,208</b>	<b>1,426,155</b>	<b>1,546,031</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>5,542,010</b>	<b>7,763,778</b>	<b>5,580,935</b>

## 個別中間損益計算書

(単位：千円)

科目	前中間会計期間 (平成12年11月30日)	当中間会計期間 (平成13年11月30日)	前事業年度 要約損益計算書 (平成13年5月31日)
	金額	金額	金額
<b>売上高</b>	<b>3,939,460</b>	<b>3,227,551</b>	<b>8,737,550</b>
<b>売上原価</b>	<b>3,462,344</b>	<b>2,842,600</b>	<b>7,548,589</b>
<b>売上総利益</b>	<b>477,116</b>	<b>384,950</b>	<b>1,188,961</b>
販売費及び一般管理費	351,482	404,705	756,854
<b>営業利益又は営業損失(△)</b>	<b>125,633</b>	<b>△ 19,754</b>	<b>432,106</b>
<b>営業外収益</b>	<b>6,973</b>	<b>7,325</b>	<b>16,040</b>
<b>営業外費用</b>	<b>44,369</b>	<b>63,135</b>	<b>103,893</b>
<b>経常利益又は経常損失(△)</b>	<b>88,237</b>	<b>△ 75,564</b>	<b>344,253</b>
<b>特別利益</b>	<b>493</b>	<b>—</b>	<b>493</b>
<b>特別損失</b>	<b>—</b>	<b>19,526</b>	<b>—</b>
税引前中間(当期)純利益 又は純損失(△)	88,730	△ 95,091	344,746
法人税、住民税及び事業税	30,048	490	142,790
法人税等調整額	11,082	△ 37,729	7,818
<b>中間(当期)純利益 又は純損失(△)</b>	<b>47,598</b>	<b>△ 57,851</b>	<b>194,137</b>
前期繰越利益	100,744	98,388	100,744
<b>中間(当期)未処分利益</b>	<b>148,343</b>	<b>40,536</b>	<b>294,882</b>

### 配当政策

当社は、株主に対する利益還元を最重要政策の一つと考えており、業績に対応した配当を行うことを基本方針としております。特に利益の配分という意味からも配当性向を重要指標と考え、さらに企業体質の強化と今後の事業展開に備えるための内部留保の充実など勘案して決定する方針を採っております。

# 株式の状況

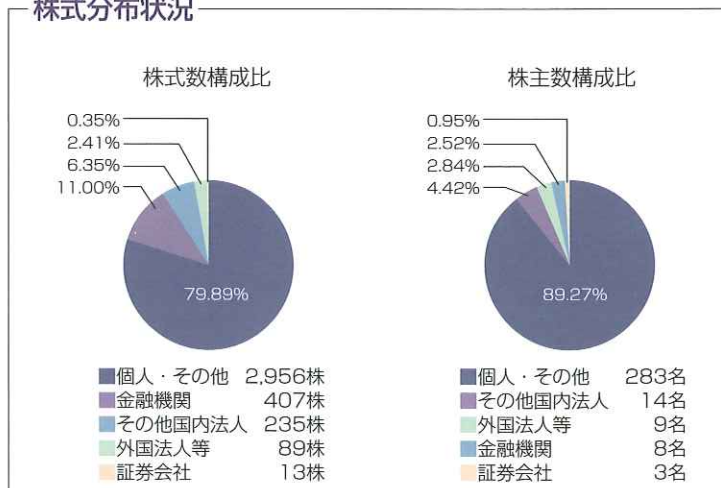
会社が発行する株式の総数 ..... 12,000株  
 発行済株式の総数 ..... 3,700株  
 株主数 ..... 317名

## 大株主

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
前 田 和 彦	1,487	40.19
前 田 扶 美 子	360	9.73
橘 俊 夫	300	8.11
東 邦 レ オ 株 式 会 社	123	3.32
松 岡 明	120	3.24
柴 田 労	110	2.97
株 式 会 社 富 士 銀 行	90	2.43
株 式 会 社 東 海 銀 行*	90	2.43
株 式 会 社 あ さ ひ 銀 行	60	1.62
株 式 会 社 十 六 銀 行	60	1.62
富 士 銀 キ ャ ピ タ ル 株 式 会 社	60	1.62

\*株式会社東海銀行は、平成14年1月15日付で株式会社三和銀行と合併し、名称を株式会社UFJ銀行に変更しております。

## 株式分布状況



## 会社の概要

商号 株式会社ウッドフレンズ  
設立 昭和57年11月26日  
資本金 279,125,000円  
社員数 56名  
本社 〒461-0004  
名古屋市東区葵三丁目15番31号  
住友生命千種ニュータワービル4F  
TEL 052-937-0192  
FAX052-937-0392

主要な事業所 東京オフィス  
東京都渋谷区神宮前四丁目2番11号  
ベルエアガーデンビル4F  
ライフスタイルショップ「ノードウッド」  
名古屋市東区葵三丁目15番31号  
住友生命千種ビル2F  
モデルハウス「クレモーナ」  
名古屋市昭和区八事本町16番  
(名古屋テレビ八事ハウジング内)  
モデルハウス「アルベロ」  
名古屋市熱田区熱田西町1番17号  
(木のすまい白鳥ハウジングセンター内)  
モデルハウス「素空間の家」  
名古屋市西区二方町40番  
(ワンダーシティH.D.P内)



本社 (名古屋市東区)

役員構成 代表取締役 前田 和彦  
取締役 笹原 利明  
取締役 奥村 金一  
取締役 尾関 利勝  
常勤監査役 杉浦 弘起  
監査役 山本 宗二

取引銀行 愛知銀行 あさひ銀行  
大垣共立銀行 岐阜銀行  
十六銀行 中央三井信託銀行  
東海銀行\* 東京三菱銀行  
東濃信用金庫 名古屋銀行  
富士銀行 三井住友銀行  
山口銀行 (アイエオ順)

主席執行役員 柴田 労  
執行役員 川口 俊夫  
執行役員 大竹 康明  
執行役員 松浦 和雄  
執行役員 佐倉 美彦

事業許可番号 特定建設業  
愛知県知事許可(特-13)第40178号  
宅地建物取引業  
建設大臣免許(1)第6013号  
一級建築士事務所  
愛知県知事登録(イ)第5644号

\*株式会社東海銀行は、平成14年1月15日付で株式会社三和銀行と合併し、名称を株式会社UFJ銀行に変更しております。

## 株主メモ

決算期日 5月31日

配当金受領株主 5月31日  
確定日 なお、中間配当を実施する場合の株主確定日は、  
11月30日といたします。

定時株主総会 8月

株主確定基準日 5月31日  
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

公告掲載新聞 日本経済新聞

### 株式名義書換

名義書換代理人 東京都港区芝三丁目33番1号 〒105-8574  
中央三井信託銀行株式会社

同事務取扱場所 名古屋市中区栄二丁目3番6号 〒460-8685  
中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店証券代行部  
電話(052)231-1145(代表)

同取次所 中央三井信託銀行株式会社 本店及び全国各支店  
日本証券代行株式会社 本店、出張所

(お知らせ)

1. 住所変更、名義書換請求及び配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、  
名義書換代理人のフリーダイヤル0120-87-2031で24時間受付しております。
2. 平成13年10月1日施行の商法改正により、額面株式制度が廃止され無額  
面株式となりましたが、この改正に伴う株主様のお手続きは、一切不要です。